

大阪府茨木工科高等学校 定時制の課程
令和5年度 第1回学校運営協議会 記録

日 時	令和5年6月19日(月) 14:00~15:40	
場 所	実習棟2階 会議室	
出席者	学校運営協議会委員(6名)	
	後援会会長	川口雅夫
	学校医兼産業医	田中孝二
	ユービック情報専門学校前校長	北村翼
	府立茨木工科高校(定)前准校長	小川寿之
	保護者	2名
	教職員(8名)	
	准 校 長	井上直人
	教 頭	林克佳
	首 席	播田晃久
	教 務 部	中村有佑
	生活指導部	井上寛一
	進路指導部	岩永満
	保健指導部	小池隆一
	書 記	小野花菜子
	(以上全14名)	

次第

1. 開会の挨拶(准校長 井上)

- ・今年度は新生徒16名で4月を迎えることになり、6月現在では生徒44名と教職員26名体制になっている。生徒一人一人に向き合う手厚い教育ができていないかと思う。
- ・オンライン授業委員会に力を入れており、昨年度は一人一台端末を用いた公開授業を4回行い、他校から10名の見学者を迎えた。
- ・今年度は近畿の自動車研究会委員長を担うことになり、本校の自動車系列に力を入れる良い機会だと思っている。

2. 座長挨拶（後援会会長 川口）

- ・会社でも、デジタル化が進行しているが、それに伴ってウィルスなどの問題も発生してしまうこともあるので、一概に生産性の向上に直接つながるとは言い難い面もあるだろう。

3. 出席者紹介（教頭 林）

4. 令和5年度 本校教育活動について協議

(1) 令和5年度学校経営計画及び学校評価について（准校長 井上）

- ・資料 pp.3-5 を参照してください。
- ・「目指す学校像」や「中期的目標における4つの柱」は例年と変わらない

p.4 【3. 本年度の取組内容及び自己評価】より

- ・授業改善のための公開授業を校内で10回以上、校外で4回以上を実施する。特に一人一台端末を用いた個別最適な学びに力を入れていく。また、自分の考えをまとめたり発表する機会やグループ学習を授業の中に取り入れる
- ・資格取得に関しては、昨年の合格率が100%であるので、今年は受験率も上げていきたい
- ・進学希望者の合格率を上げる
- ・授業規律の確立に力を入れたい
- ・教育相談に力を入れたい 個別の指導計画と支援計画の作成にはすでに取り組みされている
- ・なかなか困難であるが、年間30日以上といった欠席の多い生徒を減らす
- ・生徒秋季発表大会に今年は軽音楽部と写真部が出場し、バスケット部も高体連に出る予定である
- ・近隣の幼稚園などに木製ベンチを今年も寄贈し、社会貢献の意識を育てる
- ・昨年度はHPのリニューアルをしたことで、良い評価をいただいているので、今年も継続してアップしていく
- ・今年は全教員の相互授業見学の機会を設けており、より良い授業をめざしていく
- ・ストレスチェックを導入、外部の調査機関に委託して行う。本校は平均よりも低い値であるが、維持していきたい

(2) スクールポリシー（案）について（准校長 井上）

- ・資料 p.6 を参照
- ・「めざす学校像」の内容を引き継ぎ、発展させたものとなっている
- ・(3) アドミッション・ポリシーは例年と同じ
- ・(1) グラデュエーション・ポリシー、(2) カリキュラム・ポリシーについて特に意

見を伺いたい

【質問】

Q1 どこで公開されるのか？

A1 本校の HP や府教育庁のホームページで公開される予定です。

Q2 誰に向けてのものなのか

A2 (1) グラデュエーション・ポリシーと (2) カリキュラム・ポリシーは地域社会に向けて、(3) アドミッション・ポリシーは中学生に向けてのもの

Q3 より多くの人に公開してもらうには、紙媒体でも公開する必要もあるのではないか

A3 検討させていただきます。

(3)教務部より 令和4年度総括及び令和5年度取り組み内容等について(主任 中村)

- ・資料 pp. 7-10 を参照してください。
- ・昨年度は新学習指導要領および3観点学習評価の開始、夏の転入・冬の転籍もあり、変化の多い年であった
- ・3観点学習評価に関して、生徒・教員ともに大きな混乱もなく円滑に進められたのではないだろうか

(4)令和5年度 行事予定について(主任 中村)

- ・R5年度は球技大会・校外学習を年1回から年2回に変更した

(5)令和5年度 使用教科書について(主任 中村)

【質問】

Q4 教科書が大きく変わることはあるのか

A4 新カリキュラムへの変更に伴って、大きく変更した

(6)令和5年度 生徒の状況等について(主任 井上)

- ・資料 p. 11.
- ・1年生が学校に慣れてきて、落ち着きのない様子が目立っている
- ・スマホ指導に重点を置いていきたいが、教員によって指導の差があり、今後の課題となっている
- ・早退者数は減少している

(7)卒業年次生の進路について(主任 岩永)

- ・資料 pp. 12-15.

- ・昨年度の進路決定率は就職・進学合わせて 100%である
- ・今年度の卒業予定者の進路希望は就職 9 名、進学 1 名である

【質問】

Q5 高校生のインターンシップとはどんなものか？

A5 会社訪問をして体験学習を行うものである。単位認定はされず、1～7日程度の短期間である。また、就職直結するものではない。

(8)令和5年度 保健指導部行事日程について (主任 小池)

- ・資料 p. 16.
- ・令和5年度 保健指導部行事日程について

(9)学校いじめ防止基本方針について (首席 播田)

- ・資料 pp. 17-26.
- ・例年は安心安全アンケートといじめアンケートを併用していたが、今年からいじめ防止アンケートに一本化
- ・6月、9月、1月に実施
- ・今回からは一人一台端末を用いてアンケートを実施する

【質問】

Q6 過去大きな問題はなかったのか

A6 いじめと認定したのは過去4年間ない

Q7 長欠生徒にどうやってアンケートを回答してもらう

A7 スマホ・パソコンなどインターネット環境があれば自宅からでも参加できる

(10)令和5年度授業アンケートについて (教頭 林)

- ・資料 pp. 27-28.
- ・例年通り7月、12月の二回実施を予定している
- ・座学科目と実技科目では質問項目について少し内容を変えている

(11)その他

【質問】

Q8 一人一台端末はどう保管しているのか

A8 本校では学校保管で、授業の際に持ち出すようにしている

